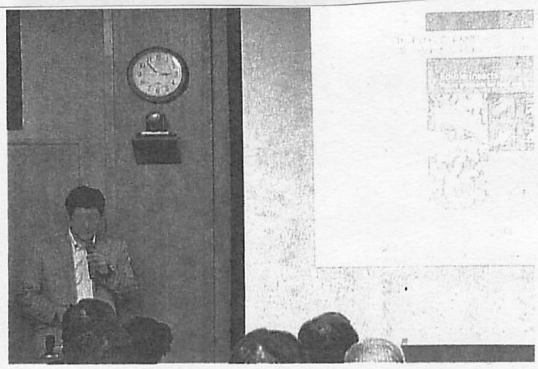
徳島新聞 - 朝刊25 28.6.17



クラウドファンディングの成果について発表する三戸准教授＝徳島大常三島キャンパス

ネットで研究資金調達

徳島大が成果報告会

徳島市の徳島大常三島キャンパスで16日、インターネットを通じて研究費を募るクラウドファンディングの成果報告会があった。出資金を活用して研究を進めた同大の教員2人が目標額達成のためのポイントなどを語り、教職員や学生ら約30人が聞き入った。

フタホシコオロギの食用化の研究を進める大学院生物資源産業学研究部の三戸太郎准教授は飼育装置開発費を調達した。出資者へのお返しとして、レシピ付きコオロギパウダーなどを用意したことを報告。「マスコミの取材を受けるなど反響は大きく、ツイッターでの発信も効果的だった」と紹介した。

星の発生に関わる磁場をハワイで観測するための渡航費を募った大学院総合科学研究部の古屋玲准教授は、出資を募る過程で、発信力のある天文学者やジャーナリストらに接触したのが奏功したと強調。「正しい方法で強くアプローチしていけば（出資金集めは）誰でも成功するだろう」と語った。（三浦麻衣）